



## 平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年5月9日

上場会社名 ダイナパック株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 3947 URL <http://www.dynapac-gr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 厚  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 草野 雅夫 TEL (052) 971-2651  
 四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	10,922	8.1	52	△32.1	74	△32.0	△544	-
25年12月期第1四半期	10,100	△3.9	77	-	109	550.6	15	-

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 △491百万円 (-%) 25年12月期第1四半期 1,035百万円 (53.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	△11.02	-
25年12月期第1四半期	0.31	0.31

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第1四半期	54,038	31,323	57.9
25年12月期	55,530	32,210	57.9

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 31,278百万円 25年12月期 32,165百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	8.00	8.00
26年12月期	-	-	-	-	-
26年12月期(予想)	-	0.00	-	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,300	1.8	500	△18.9	650	△20.8	0	△100.0	-
通期	47,100	1.3	1,450	△4.2	1,650	△7.9	800	△40.5	16.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期1Q	51,612,959株	25年12月期	51,612,959株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	2,218,238株	25年12月期	2,215,224株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期1Q	49,396,667株	25年12月期1Q	49,407,966株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料の2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内需要を中心に回復基調を持続しました。公共投資の水準が復興需要や緊急経済対策の効果から引き続き高く、個人消費は雇用・所得環境の改善に伴い底堅いことに加え、消費税率引き上げ前の駆け込み需要が本格化しました。一方、民間設備投資は企業収益の改善に伴い持ち直しておりますが、力強さには欠ける状況にあります。また、内需拡大を背景に輸入が堅調に推移する一方、昨年来の円安にもかかわらず輸出は新興国向けを中心に伸び悩み、貿易収支は赤字が続いております。

海外においては、米国経済が財政面の不透明感を払拭できないものの、個人や企業の景況感は比較的良好な状態を維持しております。一方、ユーロ圏は内需に回復が見られるものの失業問題が深刻な状況にあります。また、中国経済は、鉱工業生産の伸び率鈍化に加え、金融市場の短期金利急騰など不安定な要因を抱えております。

段ボールの消費動向は、上記内需の増大の影響を受け、食品分野をはじめ広い分野で前年を上回る推移となり、業界の生産数量は1～2月累計が前年同期比106.1%、3月単月（速報値）は前年同期比110.2%となりました。

このような環境下、当社グループは、消費税率引き上げ前の駆け込み需要をはじめ、拡大した需要の獲得に向けた活動に積極的に取り組んでまいりました。その結果、国内販売数量においては、各分野で大きく伸びを見せ、グループ全体の販売数量、販売金額において前年水準を上回ることができました。

また、不動産賃貸事業では、賃貸用商業施設（静岡県袋井市ショッピングセンター）を、平成28年にリニューアルオープンする再開発計画に着手をいたしました。それにより、当該建物の耐用年数の変更に伴う減価償却費の負担の増加および当該建物の撤去費用を計上しております。

なお、平成26年4月25日に公正取引委員会より、平成26年4月23日付け課徴金納付命令書（案）に関する事前通知書を受領したため、当該課徴金納付に伴う損失に備え課徴金引当金を計上いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は109億22百万円（前年同期比108.1%）、営業利益52百万円（前年同期比67.9%）、経常利益74百万円（前年同期比68.0%）および四半期純損失544百万円（前年同期は四半期純利益15百万円）となりました。

セグメントの業績の状況は次のとおりであります。

## ① 包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は114億96百万円（前年同期比108.1%）セグメント利益（営業利益）は95百万円（前年同期比202.3%）となりました。

## ② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は1億6百万円（前年同期比143.2%）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同期比61.3%）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ14億92百万円減少し540億38百万円となりました。これは、主に前連結会計年度間に比べ、受取手形及び売掛金などの売上債権を回収したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ6億4百万円減少し227億14百万円となりました。これは、主に短期借入金を返済したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ8億87百万円減少し313億23百万円となりました。これは、主に投資有価証券の含み益の増加に伴うその他有価証券評価差額金の増加などの増加要因があったものの、四半期純損失の計上および配当金の支払いなどの減少要因が上回ったことなどによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

日本経済は、消費税率引き上げ以降には住宅投資や個人消費の反動減や物価上昇の影響を受け、減速は避け難いものとみられます。ただし、堅調な国内需要に支えられて反動減の影響は次第に弱まり、年後半には景気は回復局面へ向かうものと考えられます。

なお、平成26年12月期の連結業績予想の詳細につきましては、平成26年4月30日に公表しました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	915,302	894,177
受取手形及び売掛金	14,148,450	12,573,466
商品及び製品	628,904	651,258
仕掛品	179,373	199,781
原材料及び貯蔵品	1,070,754	1,206,967
繰延税金資産	440,580	473,267
その他	256,227	225,425
貸倒引当金	△31,757	△35,617
流動資産合計	17,607,835	16,188,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,360,405	16,333,431
減価償却累計額	△9,243,247	△9,382,225
建物及び構築物（純額）	7,117,157	6,951,206
機械装置及び運搬具	24,725,362	24,753,370
減価償却累計額	△18,176,016	△18,365,284
機械装置及び運搬具（純額）	6,549,345	6,388,086
土地	7,578,321	7,577,713
その他	2,312,445	2,427,801
減価償却累計額	△1,735,260	△1,796,384
その他（純額）	577,184	631,417
有形固定資産合計	21,822,009	21,548,422
無形固定資産	342,118	336,086
投資その他の資産		
投資有価証券	14,918,651	15,157,887
繰延税金資産	33,606	25,624
その他	1,023,360	998,792
貸倒引当金	△217,206	△217,200
投資その他の資産合計	15,758,411	15,965,103
固定資産合計	37,922,539	37,849,612
資産合計	55,530,375	54,038,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,561,439	11,307,041
短期借入金	2,424,121	2,010,413
1年内返済予定の長期借入金	262,500	200,000
未払法人税等	230,990	88,260
賞与引当金	325,857	430,123
課徴金引当金	—	503,200
その他	2,898,117	2,499,386
流動負債合計	17,703,025	17,038,426
固定負債		
長期借入金	650,000	600,000
繰延税金負債	2,650,658	2,749,203
退職給付引当金	1,885,771	1,904,915
その他	430,085	422,418
固定負債合計	5,616,515	5,676,538
負債合計	23,319,541	22,714,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	8,616,437	7,676,856
自己株式	△985,332	△986,114
株主資本合計	28,617,784	27,677,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,425,683	3,543,815
為替換算調整勘定	121,791	57,726
その他の包括利益累計額合計	3,547,475	3,601,541
新株予約権	33,963	33,963
少数株主持分	11,610	10,449
純資産合計	32,210,833	31,323,375
負債純資産合計	55,530,375	54,038,340

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	10,100,533	10,922,158
売上原価	8,444,665	9,214,624
売上総利益	1,655,868	1,707,534
販売費及び一般管理費	1,578,790	1,655,210
営業利益	77,078	52,323
営業外収益		
受取利息	2,468	1,109
受取配当金	3,925	4,990
為替差益	11,162	2,280
受取保険金	—	13,472
雑収入	33,747	28,003
営業外収益合計	51,303	49,856
営業外費用		
支払利息	10,961	9,525
雑損失	8,269	18,467
営業外費用合計	19,230	27,993
経常利益	109,151	74,186
特別利益		
固定資産売却益	4	—
特別利益合計	4	—
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	307	81,200
課徴金引当金繰入額	—	503,200
特別損失合計	309	584,400
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	108,846	△510,213
法人税、住民税及び事業税	49,384	66,111
法人税等調整額	46,199	△30,709
法人税等合計	95,583	35,402
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	13,262	△545,615
少数株主損失(△)	△2,117	△1,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15,379	△544,399



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	13,262	△545,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	897,564	118,187
為替換算調整勘定	124,709	△64,065
その他の包括利益合計	1,022,273	54,121
四半期包括利益	1,035,536	△491,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,036,949	△490,332
少数株主に係る四半期包括利益	△1,413	△1,161

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	包装材関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	10,037,149	63,384	10,100,533	—	10,100,533
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	601,794	10,848	612,642	△612,642	—
計	10,638,944	74,232	10,713,176	△612,642	10,100,533
セグメント利益	47,299	54,231	101,530	△24,452	77,078

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△24,452千円には、主に事業セグメント間取引消去2,657千円、報告セグメント間取引消去△157千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△35,735千円および未実現利益消去7,101千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	包装材関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	10,826,714	95,444	10,922,158	—	10,922,158
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	669,804	10,848	680,652	△680,652	—
計	11,496,519	106,292	11,602,811	△680,652	10,922,158
セグメント利益	95,674	33,256	128,930	△76,606	52,323

(注) 1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△76,606千円には、主に事業セグメント間取引消去2,714千円、報告セグメント間取引消去155千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△85,166千円および未実現利益消去8,970千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。